

小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る 各種アンケート等の実施結果

— 追補版 —

目 次

1. 従業員アンケート調査

- 1) 調査の実施概要 1
- 2) 項目別集計結果 2

2. 各種アンケート等のクロス集計結果

- 1) 市民アンケート調査クロス集計結果（年齢別集計） 9
- 2) 市民アンケート調査クロス集計結果（その他集計） 48
- 3) バス利用者アンケート調査クロス集計結果（名鉄バス路線別集計） 53
- 4) バス利用者アンケート調査クロス集計結果（その他集計） 70

3. バス利用者ヒアリング調査（バス停間 OD）

- 1) こまき巡回バスのバス停間 OD 71
- 2) 路線バスのバス停間 OD 113

4. 通過時刻調査

- 1) 調査の実施概要 126
- 2) 路線別集計結果 127

5. 交通事業者ヒアリング調査

- 1) 調査の実施概要 138
- 2) 調査結果のまとめ 139

6. 公共交通地域懇談会

- 1) 公共交通地域懇談会の実施概要 141
- 2) 公共交通地域懇談会での主な意見 149

1. 従業員アンケート調査

1) 調査の実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、小牧市内に立地する企業における従業員の通勤実態や公共交通利用の可能性などを把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

特に、従業員アンケートでは、市内外からの労働者一人一人の通勤実態や、通勤における公共交通の利用が可能となる条件等を把握します。

(2) 調査対象、調査方法及び回収結果

項 目	内 容
調査対象	公共交通に関する企業アンケート対象事業所のうち、本アンケートへの協力が確認できた 24 事業所の従業員
調査方法	郵送方法による配布・回収
調査時期	平成 28 年 10 月 6 日（木）～10 月 20 日（木）
回収数・回収率	回収数：607 票、回収率 76.7%

(3) 数値の統計的な取り扱いについて

比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下 2 位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100%を前後する場合があります。また、各設問の結果のコメントについては、便宜的に“約 70%”などと、小数点以下 1 位を四捨五入した整数値で表記します。

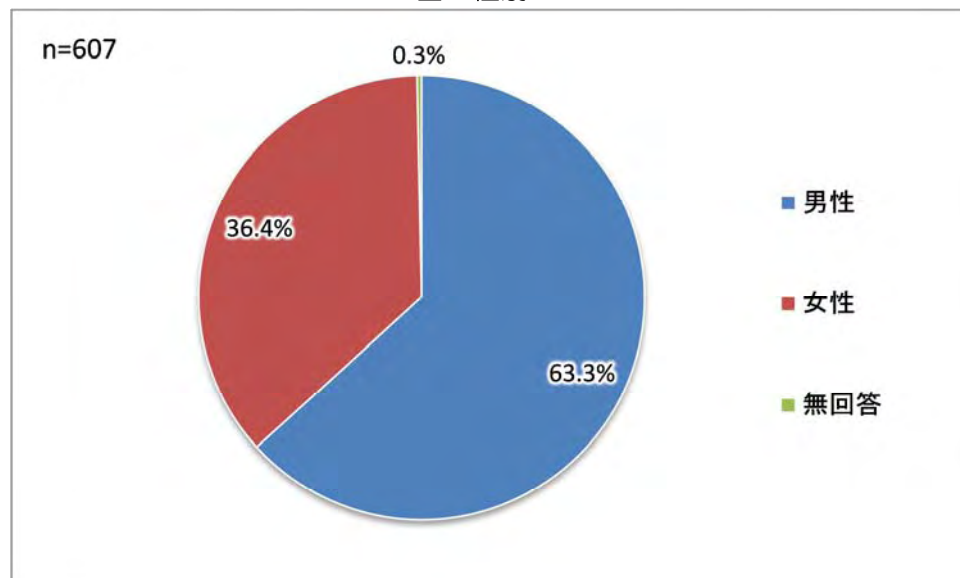
設問に対する回答者の母数は“n=〇”として掲載し、各比率は n を 100%として算出します。

2) 項目別集計結果

問1②性別

■性別は、男性が約 63%、女性が約 36%となっています。

図 性別

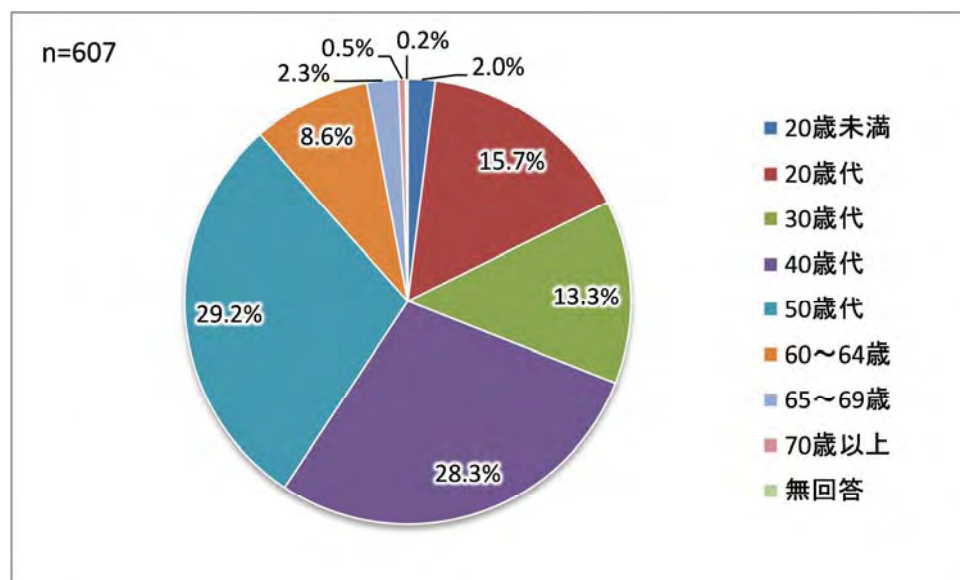


問1③ 年齢

■年齢は、50歳代が約 29%と最も多く、40歳代と合わせて約 58%となっています。

■20歳代も約 16%と多くなっています。

図 年齢



問 1 ④ お住まいの地域

- お住まいの地域は、小牧市が約 23%と最も多く、名古屋市、春日井市と合わせて約 56%となっています。
- 名古屋市内にお住まいの人は、北区が約 19%と最も多く、守山区の約 18%と西区の約 12%を合わせると約半数となっています。
- 県内にお住まいの人は、扶桑町が約 23%と最も多く、瀬戸市の約 14%と稲沢市の約 11%を合わせると、約半数となっています。
- 県外にお住まいの人は、各務原市が約 33%と最も多く、可児市の約 24%を合わせると約 57%となっています。

図 お住まいの地域

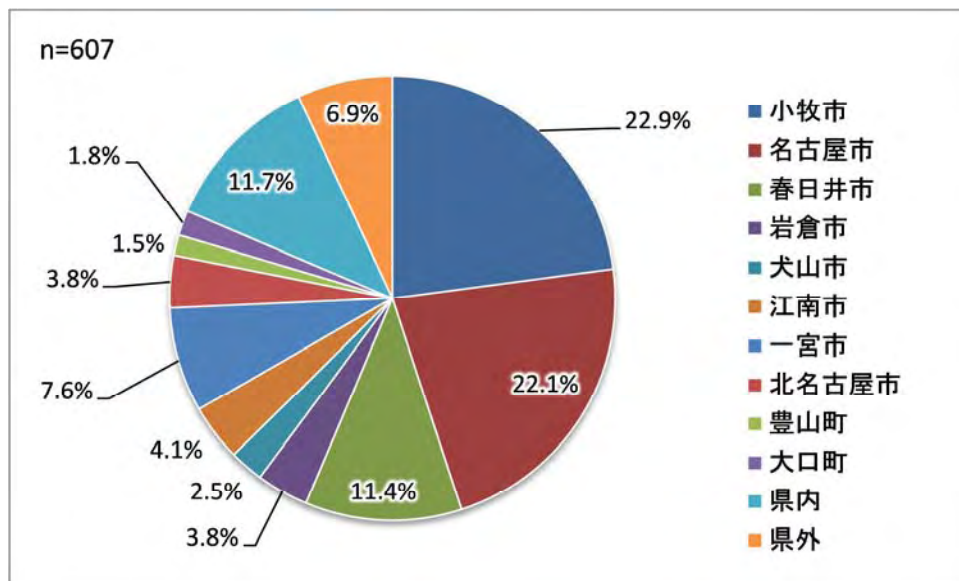


図 名古屋市内のお住まいの区

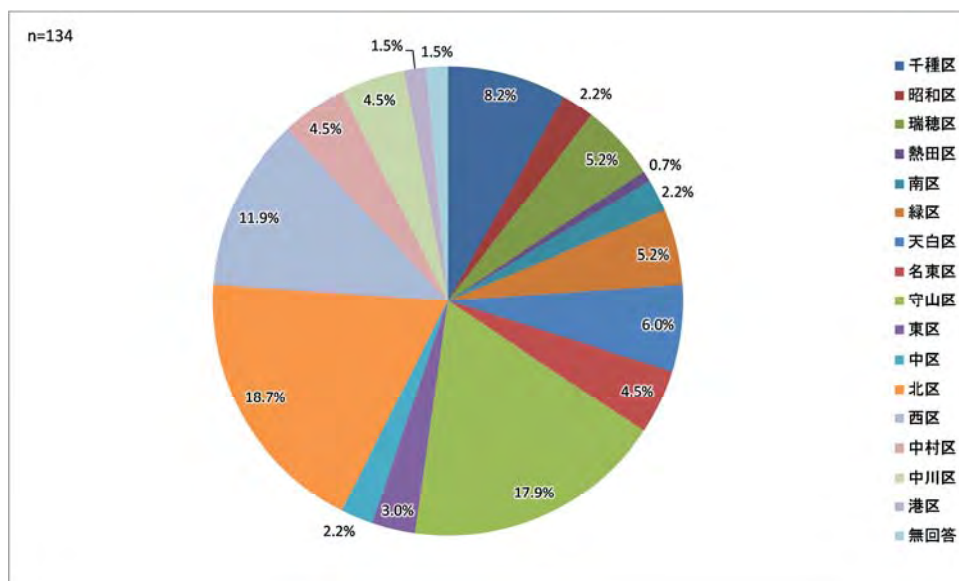


図 県内のお住まいの地域

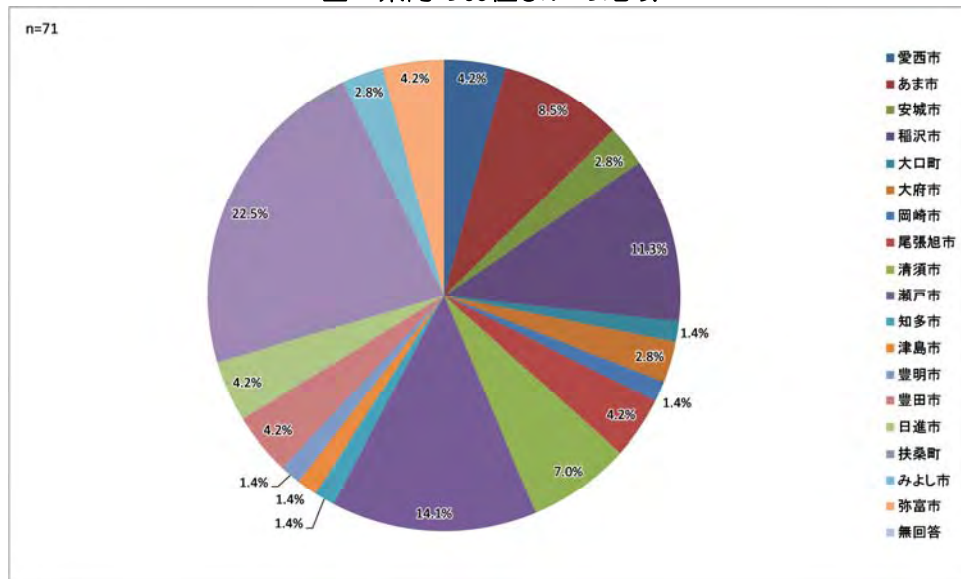
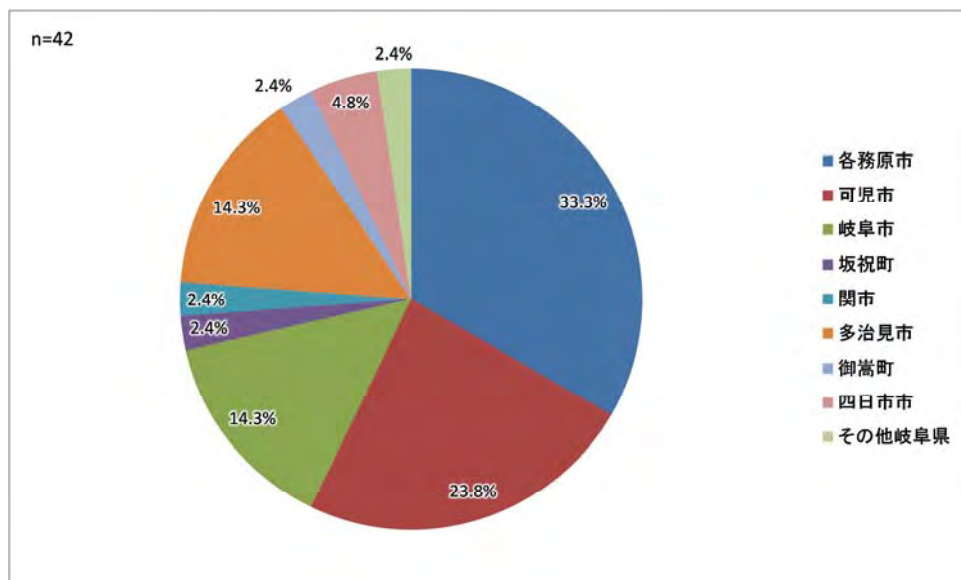


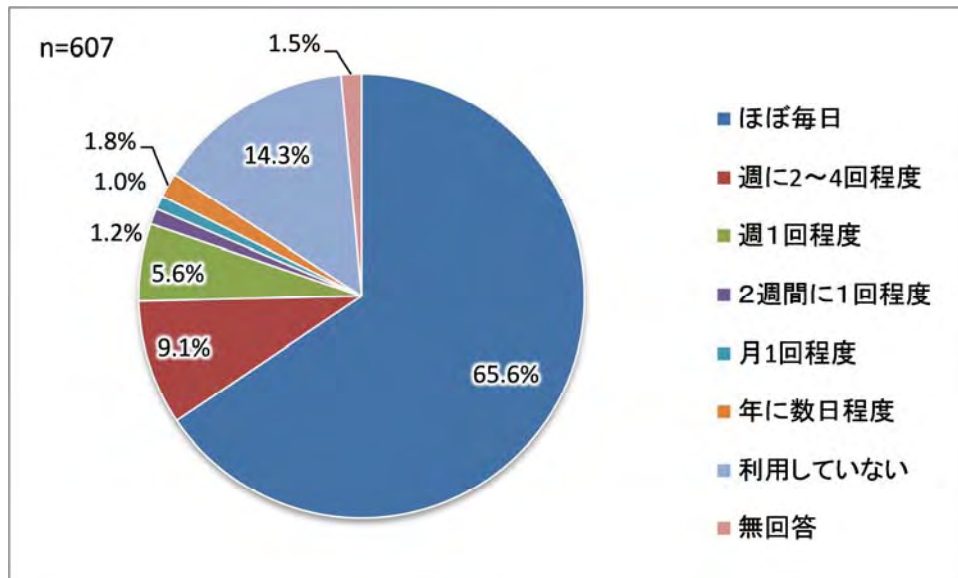
図 県外のお住まいの地域



問 1 ⑤自家用車の利用頻度

■自家用車の利用頻度は、ほぼ毎日の利用が約 66%となっています。

図 自家用車の利用頻度



問 2 ①就業時間について

■就業時間は、ほぼ毎日固定が約 93%となっています。

■ほぼ毎日固定の場合、就業時間の始まりは、8 時台が最も多く、9 時台を合わせると約 74%、就業時間の終わりは、17 時台が最も多く、16 時台、18 時台を合わせると約 76%となっています。

■就業時間が交代制の場合の就業時間の始まりは、9 時台が最も多く、8 時台、7 時台を合わせると約 57%、就業時間の終わりは、15 時台が最も多く、16 時台、17 時台を合わせると、約 57%となっています。また、22 時台の終わりも多く約 16%となっています。

図 就業時間

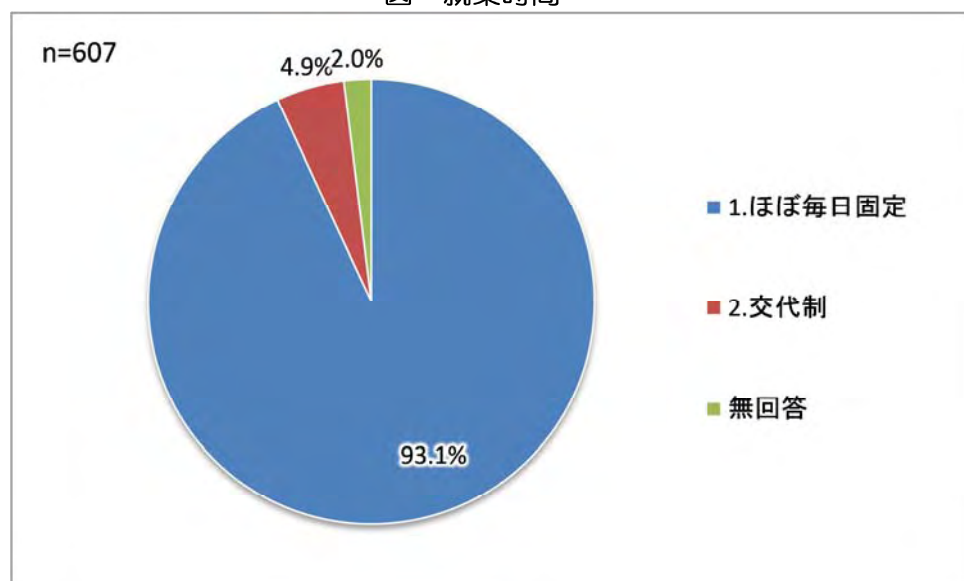


図 就業時間が固定の場合の就業時間の始まりと終わりの時間帯

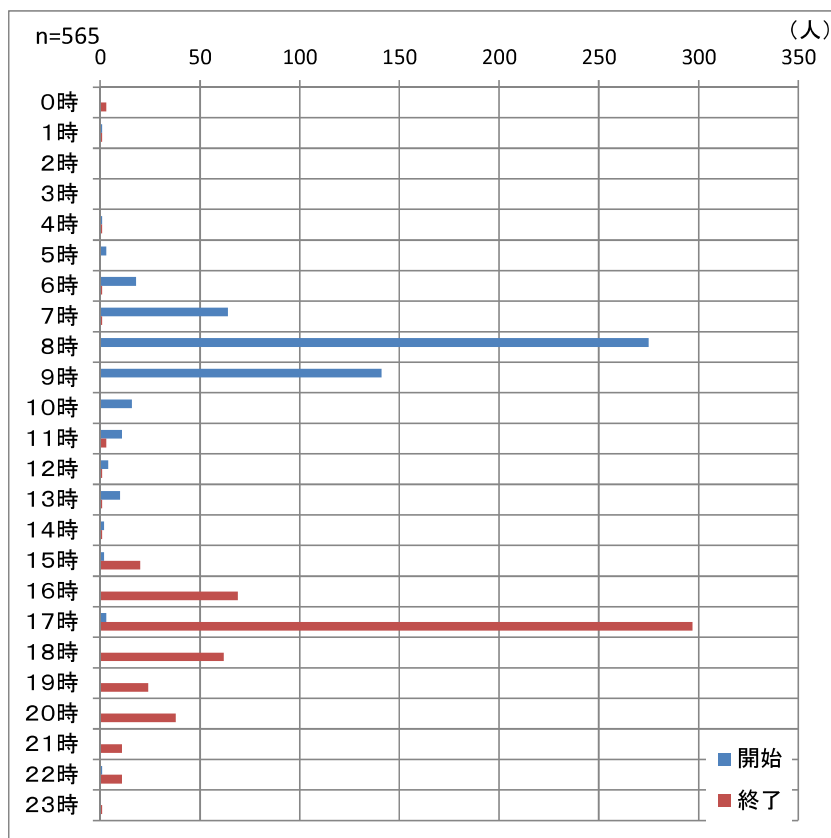
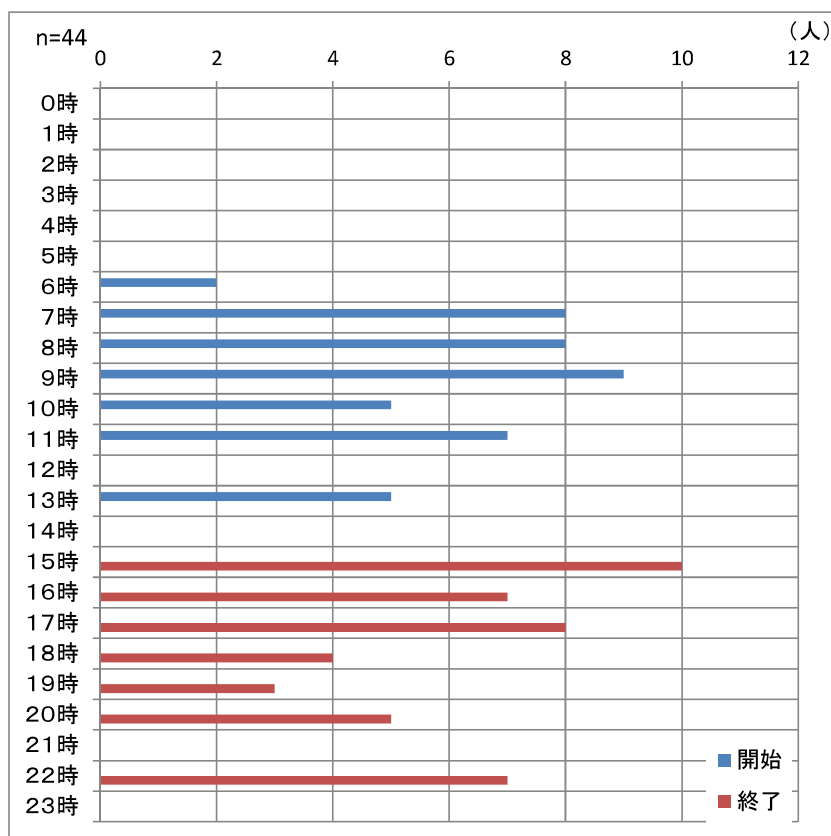


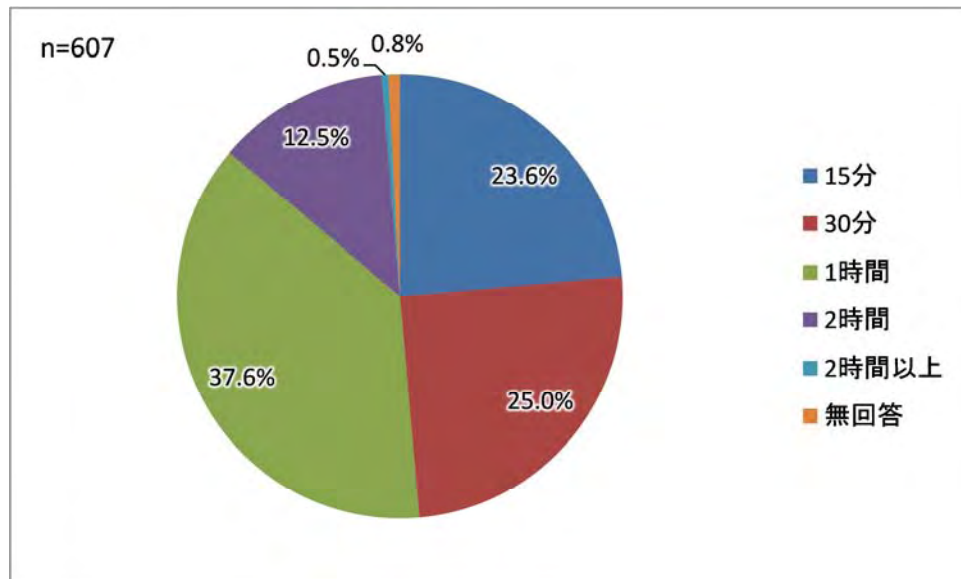
図 就業時間が交代制の場合の就業時間の始まりと終わり時間帯



問 2 ②通勤の所要時間について

■通勤の所要時間は 30 分から 1 時間以内が最も多く、1 時間以内では、約 86%となっています。

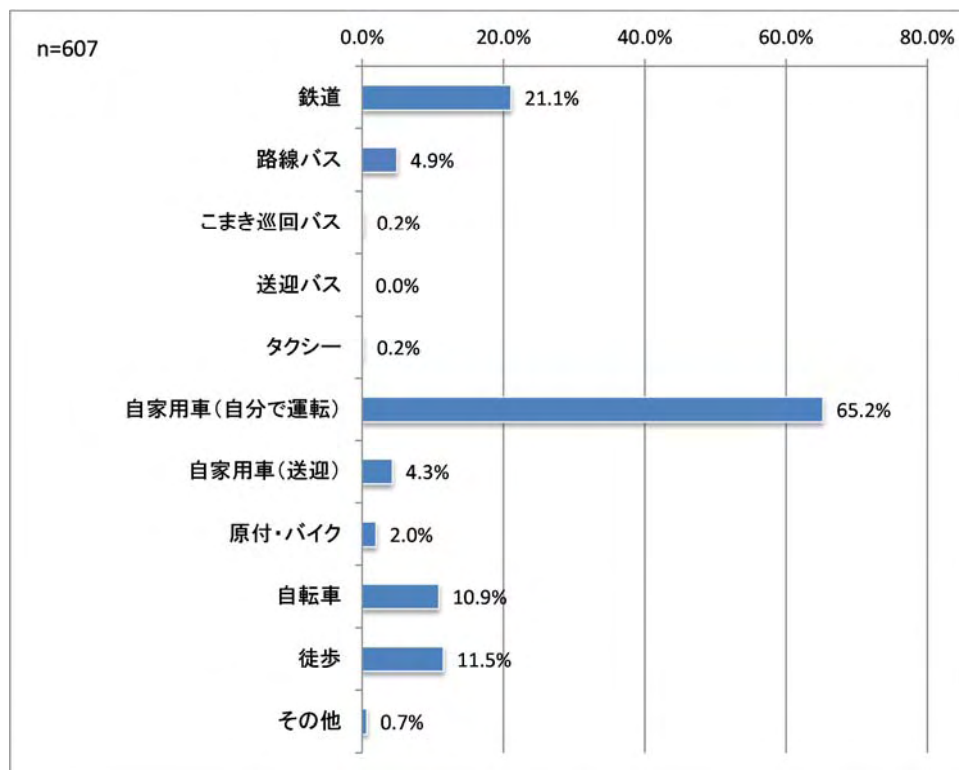
図 通勤の所要時間



問 2 ③通勤手段

■通勤手段は自家用車が約 65%と最も多く、自家用車の送迎を合わせると約 70%となっています。

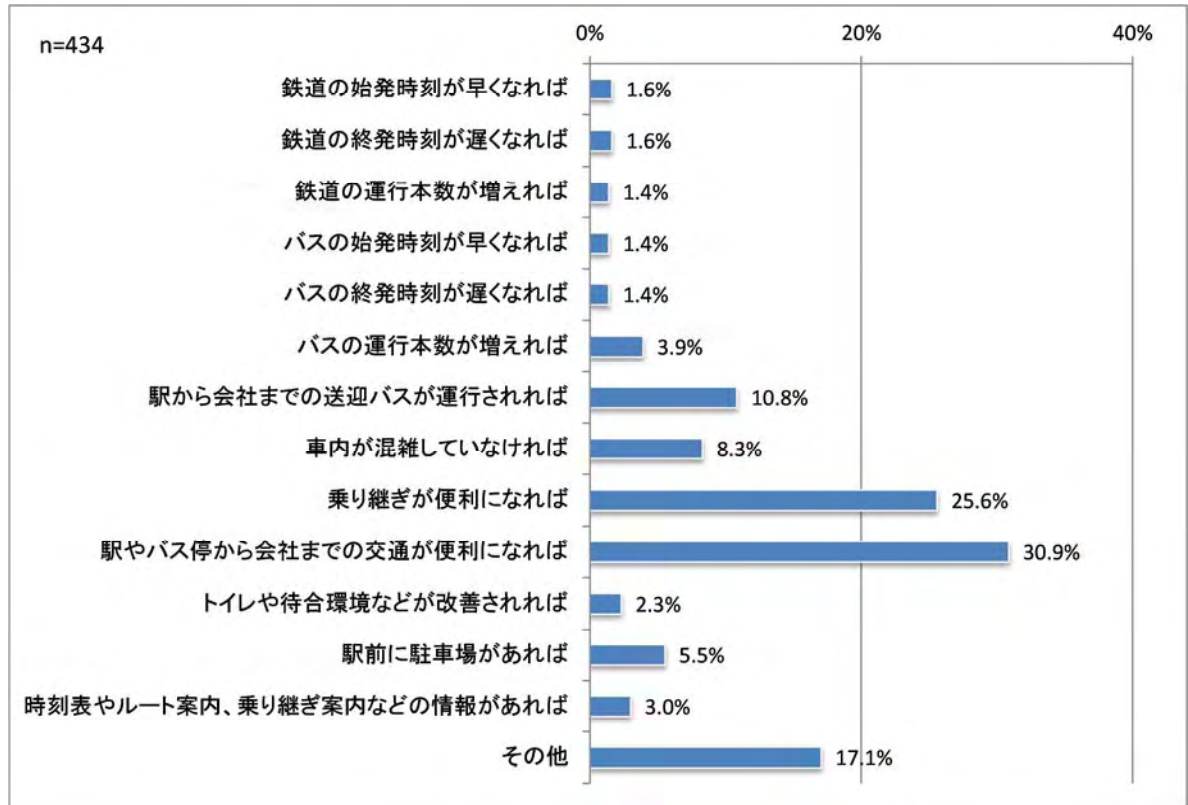
図 通勤手段



問3 公共交通での通勤が可能となる条件（問2③で「6～8」を選んだ方のみ）

■ 公共交通での通勤が可能となる条件は、「駅やバス停から会社までの交通の利便性」で約31%と最も多くなっています。次いで「乗継の利便性」で約26%となっています。鉄道、バスの始発時刻、終発時刻、運行本数は、全て5%未満と低くなっています。

図 公共交通での通勤が可能となる条件（複数回答可）



問4 内容が改善された場合、通勤に公共交通を利用しようと思うか

（問2③で「6～8」を選んだ方のみ）

内容が改善された場合でも、公共交通を利用しない人が62%もいます。

図 公共交通での通勤が可能となる条件

